

ぜんこうもくひょう

全校目標 『GROW UP!』 ～みんなとそだてるココカラの木

じんけんけんしゅう ほうこく 人権研修の報告2

ぜんごうではせかいきじゆん せいきょういく しょうがい 日本の性教育は遅れていると言われていますが、こんなに違うのか！と驚くと同時に、「確かにこれって知らせないとダメだな」「これは大事だな」と納得できる項目も多かったと思います。

こんかい ぜんごう ひきつづき、NPO法人ピルコンの染谷明日香先生の講演内容からピックアップしてお伝えしたいと思います。



こうえんかい 講演会口テーマ ～家庭と学校が連携して行う性教育～

ようしょうきからししゅんき せいきょういく 幼少期から思春期の性教育・・・

ぜんごうで紹介したユネスコ「国際セクシュアリティ教育ガイダンス」でもあるように性に関するカテゴリーは全部で8つです。そこに象徴されるように、最近の傾向としては包括的セクシュアリティ教育が主流となっています。これまでの性行動をなんでもかんでも制限したり、「〇〇したら××なるよ！」など、脅しとれるような否定的な言葉かけは時代錯誤のようです。是非気を付けていきたいですね。

オランダでは0歳から性教育をしているそうです。こうした小さな時からの性教育の効果は「リスク減」「自己肯定感UP」という研究結果が出ているようで、こうした取り組みを小さなうちから家庭ですること、大きくなってからの性に関わる話もしやすくなります。

こどもたちと性を学ぶ時に大切にしたいこと・・・

- ・否定したり茶化したりせず、肯定的アプローチで
- ・科学的で易しい言葉で説明を
- ・多様性のある子どもがそう考えるか想像して(被虐待児、ひとり親、障がい児など様々な背景に配慮する)
- ・人それぞれ価値観が違うことを理解する

きょうし おや じぶん 価値観がみんなと違っているとは気づきにくいものです。「普通はこう考えるだろう」「一般的にはこうだ」と思うことでも、本当は一人ひとり違う意見を持っていることを常に意識して、子どもたちと語り合いたいですね。

さんこうじょうほう (Amazeより)・・・*講演会資料より

- 1、性に関することもただの言葉です。声に出す練習を。
- 2、生まれた時から性の健康の学びは始まっています。
- 3、子どもの視点を持つことを大切に。
- 4、誕生に関する質問は、性行為に関する質問ではありません。
- 5、人のからだに興味を持つことは自然なことです。
- 6、子どもから聞かれるまで待つ必要はありません。
- 7、思いやりのある言葉で伝えましょう
- 8、女の子、男の子のあるべき姿は一つではありません。
- 9、多様な性の在り方を尊重しましょう。
- 10、すべての子どもたちのために「性教育は必要」と声をあげましょう。



「取り返しがつかないことをする」なんてことはありません。子どもたちはあなたのもとにいて、いつでもやり直すことができます。

がっこう 学校ホームページに
カラー版あります！

《もっと知りたい方へ》

ピルコン・・・対話から学ぶ性の健康教育を広げる非営利団体 <https://pilcon.org/>

性教育関連のおすすめ書籍 <https://pilcon.org/help-line/recommended-books>

性教育アニメ動画「AMEZE」 <https://pilcon.org/activities/amaze>

めいいく・・・医師専門家×ママクエイターでつくる今すぐ家庭でできる性教育サイト <https://meiiku.com/>

セイシル・・・中学生、高校生向けの性教育サイト「大人も勉強になる！」と話題 <https://seicil.com/>

